

# きよせ

地域で輝こう！  
わたしを活かすまちづくり

清瀬のボランティア・市民活動情報紙

## ぼらかつニュース

### 目次<主な内容>

- ◆災害ボランティアセミナー  
学ぼう！ペット同行避難
- ◆ボランティア・市民活動団体の  
実情調査（アンケート）結果
- ◆災害義援金受付  
はたらく相談会・助成金情報 ほか

### NO.238

令和 6 年

2 月 1 日発行

編集・発行

きよせ

ボランティア・  
市民活動センター

9:00-17:00

月曜日～土曜日

(年末年始・祝日除く)

〒204-0013

東京都清瀬市

上清戸 2-6-10

TEL 042-491-9027

FAX 042-491-9028



メールアドレス

kiyosebora@gmail.com

ホームページ

<http://www.kiyose-f.net/public/indx/7/>

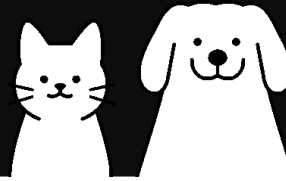


<http://www.facebook.com/kiyosecsw/>

## 災害ボランティアセミナー

# 学ぼう！ペット同行避難

～ペットを飼ったら  
備えよう～



ひのペットぼうさいの田中美智子さんに実体験を元にしたペットの災害対策についてお話していただきます。人とペットの大切な命を守るために、今できることを考え備えましょう。

また、災害ボランティアについて職員よりご説明します。

**日時** 3月2日(土) 午後1時30分  
～3時30分

**場所** きよせボランティア・市民活動センター  
(上清戸2-6-10)

**定員** 20名(事前申し込み制)

### < 講座内容 >

- ・ペット同行避難が必要な理由(過去の災害の教訓より)
- ・今すぐはじめよう！ペット災害対策
- ・清瀬で行う災害時のたすけあい

(災害ボランティア)



申込み

電話または、申込フォームからお申込みください

きよせボランティア・市民活動センター

☎042-491-9027

申込み  
フォーム





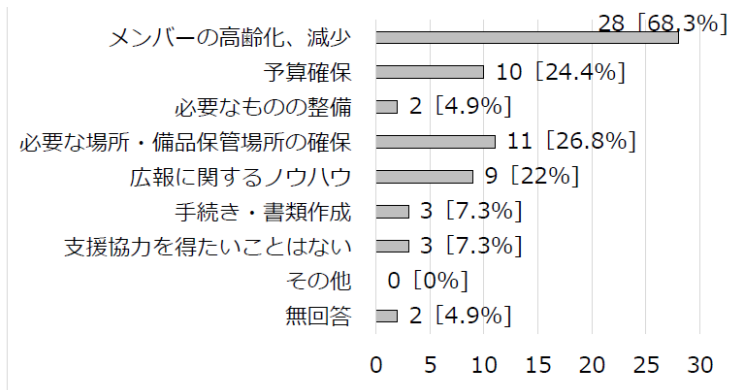
# 令和5年度ボランティア・市民活動団体の実情調査(アンケート)の結果から



令和2年(2020年)から今日まで、新型コロナウイルス感染症が市民の生活に及ぼした影響は大きく、その結果、生活様式そのものが変容を遂げています。それは、ボランティア・市民活動の活動内容、様式も例外ではありません。今回、ボランティア・市民活動センターでは、団体の今ある「姿」と「課題」を明らかにするため、アンケート調査を実施しました。調査対象は、きよせボランティア・市民活動センターとつながりのある団体の皆さんにご協力いただきました。以下アンケート結果の要約をご紹介します。

- (1) 期間：2023年5月18日(木)～6月1日(木)
- (2) 対象：市内のボランティア・市民活動団体(NPO法人・一般社団法人も含む)
- (3) 有効回答数：41団体
  - ①子育て(児童健全育成) 1団体(3%)
  - ②健康・介護予防 2団体(6%)
  - ③福祉活動 10団体(24%)
  - ④環境・動物・災害救援 4団体(12%)
  - ⑤文化・芸術 13団体(34%)
  - ⑥サロン・居場所 7団体(18%)
  - ⑦まちづくり・その他 1団体(3%)

## 問1 活動の上で課題と感じていることはありますか。(複数回答可)

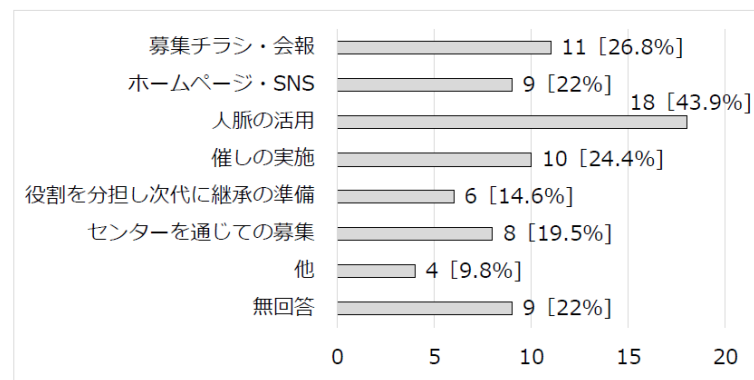


### 団体からの声

- ・高齢による退会、新規会員がなかなか入ってこない  
→会費収入の減少
- ・市の公共施設再編計画がそのまま進めば、折角の良い場所がなくなってしまうという不安がある
- ・SNS 投稿する余裕がない、周知を手伝ってほしい
- ・HP や SNS などを利用できないため広げられない
- ・リーダーの担い手不足、自発的・積極的に動ける人材がいない

『メンバーの高齢化、減少(68.3%)』に悩む団体が圧倒的に多く、その結果、会費の減少につながっている場合もあるようです。次いで『必要な場所・備品保管場所の確保(26.8%)』に関して、不安や課題を抱えている団体が多数あります。また、WEB を通じた広報の必要性を感じつつも、スキル不足により進められない実態も垣間見られます。

## 問2 メンバーの拡大、後継者の育成に関して工夫していることはありますか。(複数回答可)

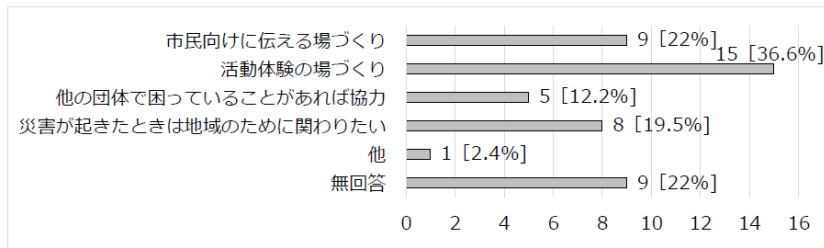


### 団体からの声

- ・チラシ、会報等はタイムリーに改定するようにしている
- ・公式 LINE アカウント取得→チラシに掲載  
→利用が増えるという結果につながった
- ・現スタッフからの紹介、元利用者の採用
- ・観察会や講演会を通じた広報を行っている

『人脈の活用(43.9%)』と半数近くの団体が人脈を活用し、身近な接点を大事にしていることがうかがえます。市報等で反応がないという反面、チラシに LINE のアカウントを記載したところ利用者が増えたとの例もみられ、催しでの市民との接点づくりなども有用なようです。

### 問3 普段行っている取り組みのほか、どんなことであれば地域貢献できると思いますか。



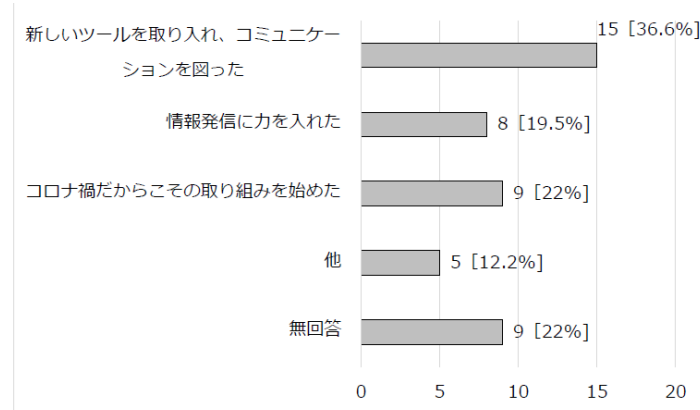
市民に伝えたり、体験の場を設定したりであれば6割近い団体が何らかの力になれると考えているようです。災害時も団体の強みを活かした支援できる団体が約2割ありました。



#### 団体からの声

- ・市民に伝える場として、高齢者の体力づくりとAIを使った歩行解析、飼育方法、視覚障害者への音訳・理解、呼吸法等お伝えする会、体験はたおり等
- ・活動体験の場として、アレンジフラワーづくり、発声練習、日本語教室等
- ・災害が起きたとき、炊き出し、避難所、聴覚障害者支援、同行避難所、外国人支援

### 問4 コロナ禍の中、団体運営で工夫したこと、新しい成果はありましたか。(複数回答可)



#### 団体からの声

- ・SNSを新たに開始
- ・ローカルTV、ラジオ パネル展を活用し情報発信
- ・すべての会員あてに書面で活動内容を発信した
- ・コロナでも、スタッフを含めて高齢者が孤立しないように活動を継続した
- ・子ども食堂のオープン、お弁当配達の開始

『新しいツールを取り入れ、コミュニケーションを図った(36.6%)』とメンバー間相互のコミュニケーション確保を図り活動継続につながったところが多く見られます。子ども食堂やサロンなどの居場所活動では、『コロナ禍だからこの取り組みを始めた(22%)』と、通常とは形を変えて活動を続けたところが目立つ印象となりました。

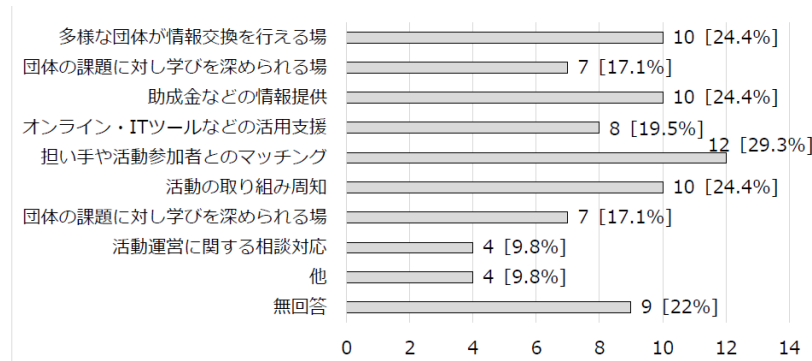
### 問5 コロナ禍に関係なく、この2～3年であった良かったこと・新しい成果などがあれば教えてください。(自由記述欄)



#### 団体からの声

- ・小学校の環境教育授業に取り組み、教師やPTAなど新たな結びつきが生まれた。
- ・活動が地域に広く認知されるようになった。また、以前よりも自発的なボランティアが起こされた。
- ・可能な限り継続して実施できたことでスタッフも増員できて、引き続き元気で活動できているし、参加者も継続して参加している人も多く、また新規の人も誘い合って積極的な参加につながる。
- ・活動が十分に行えない中、運営委員の活動とチームワークで発足後最多の120名の会員を維持していること。

### 問6 センターの取り組みとして、さらに期待したいことはありますか。(複数回答可)



担い手と活動参加者のマッチングに期待する声が多く見られました。また、オンラインITツールの導入や広報支援、助成金利用支援などを含め、それぞれの団体が必要とする『つながり』を創るサポートが求められていると言えます。「団体と人」「団体と団体」「団体とお金・場所」などでつながりあうきっかけづくりを行い、団体が持つ力を引き出していくことで清瀬のボランティア・市民活動を元気にしていくことを目指していきたいです。

## 令和6年能登半島地震災害義援金にご協力をお願いいたします

令和6年1月1日の能登半島を震源とした地震により、甚大な被害が出ております。この災害に伴い、清瀬市社会福祉協議会、清瀬市障害者福祉センターおおぞら、きよせボランティア・市民活動センターの窓口で災害義援金の受付を行っております。

受け付けた災害義援金は、中央共同募金会に送付し、被災された県に按分されます。詳しくは清瀬市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

ご協力、よろしくお願いいたします。

＜期間 令和6年6月28日まで＞

※被災県の状況に応じて、期間を延長する場合があります。

ホームページ⇒



問合せ

清瀬市社会福祉協議会 地域福祉係  
☎042-495-5333

## きよせの社福「はたらく相談会」

「働いた経験がない」「就職活動が難航している」など働きたいけど不安や心配事がある方や、「福祉の仕事への転職を考えている」「どこに相談したらいいかわからない」などお悩みはありませんか。

市内社会福祉法人とハローワーク三鷹、東京都福祉人材センター、きよせ生活相談支援センターいっぽが協力して行う相談会です。どなたでもおいでください。

**主催** 清瀬市社会福祉法人社会貢献事業協議会 (きよせの社福)

**共催** 清瀬市 **参加費** 無料

**日時** 2月15日(木)午後2時～4時30分

**場所** アミューホール(生涯学習センター7階)

**申込み問合せ** 電話または申込フォーム  
清瀬市社会福祉協議会  
☎042-495-5333



申込フォーム⇒



※ぼらかつニュース1月号の「はたらく相談会」申込フォームの2次元コードに誤りがございました。申し訳ございません。

### 切手サロン開催について

2月はお休みです。次回は下記になります。

- 日時 3月8日(金) 午後2時～3時30分
- 場所 清瀬市障害者福祉センターおおぞら2階 (上清戸1-16-62)

【問合せ】 きよせボランティア・市民活動センター  
☎042-491-9027

### 助成金情報

＜応援します地域の力＞

## 令和6年度第1回地域福祉活動応援助成金【団体向け】

令和6年度中に行われるたすけあい活動に対し助成します。

**対象活動**

見守り・サロン活動、子ども食堂、障害や病気を持つ方の交流活動、その他たすけあい活動

**助成金額**

1事業につき原則3万円～10万円を上限(内容により基準が異なります)

**応募方法**

所定の申込書により2月27日(火)までに社会福祉協議会へ提出してください。申込書は社協窓口で配布のほかホームページからダウンロードできます。助成決定は3月下旬・資金交付は4月上旬になります。

問合せ

清瀬市社会福祉協議会 地域福祉係  
☎042-495-5333

### 助成金情報一覧を掲載しています

清瀬市社会福祉協議会ホームページでは、他団体が実施する令和5年度助成金情報を一覧にして掲載しています。

【詳細】

<http://www.kiyose-f.net/publics/index/397/#page-content>



### きよせのボランティア募集情報

社会福祉法人まりも会 清瀬療護園

- 場所 清瀬市竹丘3-1-72
- 内容 ・紙芝居 ・ご利用者様と散歩 ・寄席 ・オセロ ・ネイル など

活動の内容や日程、時間などお気軽にご相談ください。

問合せ 清瀬療護園 地域福祉委員会 ボランティア担当

☎042-493-3235(代表:大場)

きよせボランティア・市民活動センター

### 12月の施設利用状況

- 会議室の貸し出し
  - 市民活動団体へ 269人
  - 委託事業 116人
- 他来館者 677人
- 合計のべ人数 1062人

